

面接時の留意事項

1 姿勢、態度等（対面・web共通）

1 まっすぐ座り、まっすぐ立てるか

- ・姿勢のよい学生は早く決まっていく
(内定の出ない学生→少し斜めで暗い印象)

2 目を合わせて、自分の気持ちを伝える

- ・目をそらすことは許容範囲だが、適度にきちんと目を合わせて話すことが重要

(対面)

眼を見るのではなく顔全体を見るようにし、できるだけ優しい視線を送るようにする。

(web)

カメラレンズを見て話すようにしましょう。
画面を見ると、相手からは視線が下がっている印象を受けます。また、カメラの位置と目の高さが水平になるようセッティングすると高さが丁度良くなります。

3 熱意を表し、自分をしっかりアピールする

- ①声の大きさ
- ②顔の表情（笑顔）
- ③姿勢
- ④きびきびした行動などで熱意を表す



2 出入り際のマナー（対面）

1 面接官と目を合わせたら、礼をする

- ①ドアを開けて入室するとき（会釈）
- ②入室して、ドアの前に立ったとき（普通礼）
- ③面接官の前に立ったとき（普通礼）



会釈 普通礼

2 礼とあいさつ

- ・礼をする前に、言葉を添える。
面接が始まるまで、「よろしくお願ひいたします」
面接が終わってから、「ありがとうございました」

3 その他（web）

お互いがアクセスした時点で面接がスタート

- ・Web面接では、映った瞬間から選考がスタート。
表情や声のトーンには初めから気を付ける。

緊急連絡先を確認しておく

- ・正常に動作しないことや、途中でトラブルにより面接が中断してしまうこともあります。不測の事態に備え、緊急時の連絡方法を確認しておきましょう

4 面接の答え方（対面・web共通）

～自分の話が伝わるか不安な方、必見！～

1 答えは「長すぎず、短すぎず」

- (1)話す時間は、最長でも1分を限度として話しをまとめる。
簡潔明瞭に答える。
- (2)短すぎてもダメ
- (3)箇条書き的に答える・志望の動機など、集団面接時に有効

2 面接用の技法で質問に答える

- (1)結論を先に話す
- (2)続いて、その理由、エピソード等を話す
 - ・「その理由」
 - ・「具体的なエピソード」
 - ・「補足説明」

3 話し方は「ハキハキと元気に、明るく、笑顔で、テンポよく」

- (1)ハキハキと、明るく元気よく答えることが好印象を与える。自分の考えをハキハキ述べるのが大切です。
- (2)語尾まできちんと声を出す「***です。」「***ます。」と丁寧語でしっかりと発音する。
- (3)質問を受けたら、テンポよくすぐに答えるようにする
 - ①知識を問う質問でわからない時
 - ②ピッタリの答えが見つからない時
 - ③どのように答えたらよいのか迷い時間が欲しい時は、質問されたことを再度面接官へ返し、考える時間を確保
 - ④最後の手段「少し考える時間をください」

(参考)上記、「面接の答え方」を取り入れた過去の先輩の面接回答について

質問：「最近、関心や興味を持った出来事、あるいはこれまで印象に残っている体験を教えてください。」

回答：高校2年生のバレーボール県大会での試合が忘れられません。相手に10点差をつけられて迎えた試合終盤、主将が捻挫してしまい、誰もが息をのんだ中、彼女は決してコートを離れませんでした。そんな彼女に応えるかのように、私たちも諦めるものと必死にくらいつた結果、全員で勝利と北信越大会への切符をつかむことができました。諦めないことの大切さと素晴らしさを教えてくれた試合です。